

平成26年第4回定例会開催

未来につながら 復興へ 着実な 一歩を

平成26年第4回定例会を12月11・12日の会期で開きました。

今回は、補正予算や議員定数の削減など14議案を慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。

なお、一般質問では5人の議員が、それぞれ町の対応や考えをいただきました。



広島市議会議員 鈴木紀昭

新年のごあいさつ

2015年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

さて、あの東日本大震災と福島第一原発事故から早いもので4度目の新年を迎えました。

議会は、昨年、ふるさと広野の復興とさらに住みよい環境の整備などを重点に事業展開した町を後押し、町内で生活するための条件整備に努めました。

下浅見川桜田地内では広野原団地（災害公営住宅）の入居も始まり、一歩ずつですが、目に見える形で復興が進んでおります。

しかしながら、約7割近くの町民が未だに町外での避難生活を続けていられるという厳しい現状や人口減少などの状況を考慮して、議員定数について自らも身を削り、削減することが必要であるとの結論に至り、次回改選時には、議会議員定数を12人から10人とすることを議決しました。

議会の役割や議員活動が非常に重要になっていると身も心も引き締まった思いであります。

今後とも、議員一同ふるさとへの誇りを胸に、明るく元気な広野町を目指し、一日も早い復興に鋭意努力してまいります。

どうか本年も、より一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって幸せ多い年でありますよう、心よりご祈念申し上げます。新年のあいさついたします。